

2021 10/26

No.2149

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



ひまつりたまぎのう

300年の歴史を持つ伊勢原市の重要文化財「大山火祭 薪能」が5、6の両日、大山阿夫利神社の能楽殿で開かれた。



| | |
|------------------------------|----|
| 視点点描 | 3 |
| 祭典は何を残したのか | |
| デモクラシーの現場から | 4 |
| 問われるコロナ後の社会像 | |
| 国際 | 6 |
| 中国経済のジレンマを象徴 恒大集団の経営危機の意味 | |
| くらし2021 | 10 |
| 看護師が見た新型コロナ治療の現場 | |
| アジアの風 | 12 |
| 次期大統領選にも影響か レッサ氏のノーベル平和賞 | |
| NNAアジア経済レポート | 13 |
| 神奈川景気データファイル | 14 |
| 神奈川景気データファイル | 15 |

事務局だより

◇2021年11月定例講演会
11月19日(金)午後1時30分
～3時
県民共済みらいホール(横浜
市中区桜木町1-1-8-2)
講師は学校法人関東学院理事
長の規矩大義氏
演題は「災害への備え～想像
力こそが事業継続のカギ～」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

視点 点描



祭典は何を残したのか

世界最大のスポーツの祭典は一体何を残しただろう。東京五輪の閉幕から2カ月余り。夢の残り香は早々と消えうせ、人権意識の後進性という深い爪痕だけが残ったような気がしている。

競技自体は日本勢の活躍に大いに沸いた。新型コロナウイルス禍によって賛否が渦巻いた大会前の世論は一転、多くが大会を好意的に捉えることに結び付いた。

メダル総数58個は過去最多。NHKが生中継した開閉会式の視聴率はそれぞれ56・4%、46・7%に達した。共同通信の世論調査によると、開催に対し「良かった」と回答した人の割合は6割以上に上っている。

だが、五輪の理念に照らし合わせても「良かった」と言い切れるのか。暗澹たる気持ちにさせられた出来事を挙げれば切りがない。

女性タレントの容姿を侮蔑し、嘲笑の対象とするブランを練っていた開閉会式の演出統括に、過去の障害者いじめを自慢話かのように吹聴していた開会式の楽曲制作担当。果ては、ホロコーストを題材にした自作コントをかつて演じていた開閉会式の制作・演出チームのディレクターである。

いずれも五輪本番までに辞任、解任されたが、大会ビジョンに掲げられた「多様性と調和」は絵空事かと首をひねらざるを得ない。女性蔑視発言で辞任した元首相が最高責任者の地位に就いていたのだから、推して知るべし。

結局のところ、問題はこの国の指導層における認識の欠如に行き着く。招致の旗振り役を最初に担ったのは、外国人や障害者、女性らへの差別言動で知られる元都知事の石原慎太郎氏である。招致レースに熱を入れた時の政

権も反差別政策に積極的だったとは言いがたい。大会直前の国会で性的少数者への理解増進を図る法案の提出が見送られ、会期中には「種の保存に背く」といった醜悪な差別発言も飛び出している。

近代五輪の創設者クーベルタン男爵は女性の大会参加に否定的で「不快」とまで言っていたが、1世紀以上がたった後、高尚な理念を身にまとった五輪が日本社会に根深く残る問題を可視化したというのは何とも皮肉だろう。

われわれの多くが差別主義者を看過してきたし、それなりに選択できる人生の特権とは気付かずに歩んできた。東京で噴出した「負のレガシー」を生かせるかどうか。それは一人一人の今後の在り方に懸かっている。

(神奈川新聞社運動部長

下屋鋪 聡)